

問診による捕捉調査の実施状況について

(輸血後 HEV 感染の予防対策)

はじめに

HEV は主として経口感染と言われていることから、ウイルス血症の献血者を問診の充実により排除することが可能かどうか検討している。

先ずは、HEV 陽性率の高い北海道において平成16年11月1日から「過去3ヶ月以内に豚、鹿、猪等の生肉を食べましたか。」と確認し、該当献血者の血液検査を実施したので報告する。

○ HEV 問診調査状況

北海道赤十字血液センター管内
調査期間:平成 16 年 11 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日

	ブタ	シカ	不明	合計
男性	99 (0.14)	173 (0.24)	57 (0.08)	329 (0.45)
女性	40 (0.08)	61 (0.13)	33 (0.07)	134 (0.28)
合計	139 (0.12)	234 (0.20)	90 (0.08)	463 (0.39)

() :期間内献血者総数に対する割合%

男性献血者総数: 72,659
女性献血者総数: 47,153
総献血者数: 119,812

○ HEV-RNA 検査結果

検査した 463 本から HEV-RNA は 1 本検出された。